

今後の行事予定

介護のお仕事体験 はじめの一步応援します!

■介護体験3日間コースに参加しませんか?

介護は初めて...私にできるかしら? ▶ **安心して下さい!**
入職前研修で体験・実践
できます!

経験はあるけど...少し不安だわ... ▶

受講・保育 無料 **基礎技術が学べます!** **自信を持って働けます!**

- 対象：介護職未経験者または、手技や知識に自信のない方
- 日時：12月7日(水)・8日(木)・9日(金) 10:00~15:00 (昼休憩あり)
- 費用：無料

※保育利用可 ※昼食付き ※1日だけの参加でもOK

	AM 10:00~12:00	PM 13:00~15:00
1日目	●オリエンテーション ●講義 ①社会状況について ②介護とは ③高齢者介護について	●療養生活援助 ①シーツ交換 ②口腔ケア
2日目	●講義(安全な介護) ①事故対策 ②感染対策 ③災害対策	●療養生活援助 ①排泄介助 ②移動介助
3日目	●療養生活援助 ①食事援助 ②入浴介助 ●病院・施設見学ツアー	●病棟実習(半日・1日もOK) ●就業相談(お茶会)

お申込み お問い合わせ 医療法人社団永生会 永生病院 看護部長室 担当：斉藤・梶
TEL/FAX 042-661-4172 e-Mail:kango@eisei.or.jp http://www.eisei.or.jp

医療法人社団 永生会

理念：人々に質の高い、安心な、やすらぎにあふれた、リハビリ・マインドのあるヘルスケアサービスを提供します。

- 永生病院 〒193-0942 東京都八王子市栢田町583-15 TEL.042-661-4108
- 南多摩病院 〒193-0832 東京都八王子市散田町3-10-1 TEL.042-663-0111
- 永生クリニック 〒193-0942 東京都八王子市栢田町588-17 TEL.042-661-7780
- クリニック0(ゼロ) 〒193-0943 東京都八王子市寺田町490 TEL.042-666-1556

- 介護老人保健施設
イマジン 〒193-0942 東京都八王子市栢田町583-15 TEL.042-662-7000
マイウェイ四谷 〒160-0015 東京都新宿区大京町1-3 TEL.03-3355-0428
オネスティ南町田 〒194-0004 東京都町田市鶴間7-3-3 TEL.042-788-0373

- グループホーム
寿限無 〒193-0942 東京都八王子市栢田町590-4 TEL.042-662-6500

- 訪問看護ステーション
めだか 〒193-0942 東京都八王子市栢田町513-13-1F TEL.042-661-5080
とんぼ 〒193-0914 東京都八王子市片倉町440-2 TEL.042-632-6351
ひばり 〒193-0835 東京都八王子市千人町2-13-8-1F TEL.042-649-6917
いるか 〒193-0364 東京都八王子市南大沢1-18-11-A103 TEL.042-659-2213
口笛 〒194-0004 東京都町田市鶴間7-3-3 TEL.042-706-8810

- 居宅介護支援事業所
ケアプランセンター えいせい 〒193-0942 東京都八王子市栢田町583-15 TEL.042-662-7020
居宅介護支援事業所 片倉 〒193-0914 東京都八王子市片倉町440-2 TEL.042-632-6335
ケアプランセンター びあの 〒194-0004 東京都町田市鶴間7-3-3 TEL.042-706-8808

- 八王子市高齢者あんしん相談センター
八王子市高齢者あんしん相談センター 片倉 〒193-0914 東京都八王子市片倉町440-2 TEL.042-632-6331
八王子市高齢者あんしん相談センター 寺田 〒193-0943 東京都八王子市寺田町137-4 TEL.042-673-6425

- 病児保育室
はる 〒193-00832 東京都八王子市散田町3-8-10 アーテルKSハイム1F TEL.042-663-0111 (南多摩病院 代表)

医療法人社団 明生会 セントラル病院

- 本院 〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-18-1 TEL.03-3467-5131
- 分院 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町25-1 TEL.03-3465-5131
- 松濤 〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-11-12 TEL.03-3485-5131

- 永生会協力会社
在宅総合支援サービス 十字会ケアステーション 〒193-0833 東京都八王子市めじろ台1-9-1 TEL.0120-537-0800

シャトルバス運行中 永生病院 ▶ めじろ台駅 ▶ 南多摩病院 ▶ 西八王子駅 ▶ めじろ台駅 ▶ 永生病院

さまざまな永生会の機能を患者様・ご家族様・ご利用者様に余すことなく提供できればと考え、コールセンターを開設しています。

eisei 永生会コールセンター ☎ 0120-001-083 http://eisei.or.jp/

通信

e i s e i

地域と患者さまに、永生会の今をお届けする



●入所から家に帰るまで、その人らしい生活のためのお手伝いをいたします。

CONTENTS

- MESSAGE 医療法人社団永生会理事長 安藤高朗からのメッセージ ●表紙について
- えいせいNEWS ●お知らせ
- INTRODUCTION
- 知って得するお話 ●医療と介護の今後
- 交流TOPIC ●あのかたこのかた ●今後の行事予定

72
2016.10

理事長

あんどう たかお

安藤高朗からのメッセージ

介護老人保健施設オネスティ南町田をご紹介します。



今回は介護老人保健施設イメージをご紹介させていただきました。引き続き永生会の老健施設の紹介シリーズ第二弾。オネスティ南町田について

お話しさせていただきます。

2013年に開設したこのオネスティ南町田。永生会の老健の中では一番新しい施設です。玄関を入りエントランスを抜けると、たくさんの人と出会う街角のひとつをイメージしたロビーが広がります。色彩豊かな空間はゆったりと話し合える憩いの場。フロアの壁の色は食欲を増進させる色、心が落ち着く色などを採用。居室は間接照明を使い落ち着いた雰囲気演出し、仕切り家具を導入するなどしてプライバシーにも配慮しています。多くのニーズに対応できるよう畳仕様のお部屋も用意されています。同施設内には「ケアプランセンターぴあの」と「訪問看護ステーション口笛」が併設されており、入所してから自宅に帰るまで切れ目ないサポートも行います。

サービスにおいては、永生会自慢の手厚いリハビリテーションに加え、多くのスタッフが専門的な研修を受けており、特有の症状をお持ちの方にも心に寄り添うきめ細やかなケアを実践しています。

一般的に、生活の場として機能している介護老人保健施設ですが、このオネスティ南町田はコンセプトとして終末期も視野に入れています。今後はがんによる苦痛をやわらげる緩和ケアや、看取りに向けてのサポートを行うターミナルケア

などにも注力する予定で、ご本人にとってくつろげる環境で限られた時間を大切な人と過ごす部屋としてHonesty room（オネスティルーム）も施設内には設けられています。住み慣れた地域で最期まで生活ができるよう、こういったニーズにも応えられる施設を目指していきます。

その人の人生はその人らしさそのものです。昔過ごした日々や生活の習慣が在宅への復帰のモチベーションといえます。オネスティ南町田はそんな一人ひとりの“その人らしさ”を尊重し、新しい生活の“再スタート”を色味のある“彩スタート”につなげられるよう、スタッフ一同これからもお手伝いいたします。

医療法人社団永生会理事長 安藤高朗



色鮮やかな安らぐ空間はオネスティ南町田の特徴です。



充実した機材に加え、各エリアを合わせると50mほどある廊下。



緑豊かな野外での歩行など、環境を生かしたリハビリテーションプログラムを採り入れています。

Blog安藤たかおの見聞録 <http://ameblo.jp/ando-takao/>



<https://www.facebook.com/takao.ando.395>

表紙について

介護老人保健施設オネスティ南町田

色鮮やかな壁の色や天井が印象的な空間。自宅での生活と同じように、なるべく規則や制限をせずご本人の希望を第一に考えサポートします。ケアプランセンターや訪問看護ステーションの併設による退所後のサポート万全！「その人らしさ」を第一に考え、地域に根ざした施設となれるよう、スタッフ一同は日々研鑽しています。

9月はお祭りフィーバー!!

敬老の日になみ、9月11日にマイウェイフェスタ、9月18日に永生フェスティバルとオネスティカーニバルと各施設にてお祭りが開催されました。スタッフによるうまい棒の早食い大会や、力強いよさこい踊りの披露。バンドの生演奏や血圧や血管年齢の測定など病院ならではのブースも。バザーや展示会場では利用者様による陶芸や編み物等の作品も華やかで今年も各会場が盛り上がりました。



学問の秋らしく学会に参加してきました。

永生会は学会への参加発表に積極的で、聴講も含めてたくさんの職員が毎年参加しています。9月14日から9月16日に



全国介護老人保健施設大会（大阪府）、10月1日、2日にグループホーム大会（北海道）、10月8日、9日に全日本病院学会（熊本県）、10月27日、28日に日本慢性期医療学会（石川県）、と各地で様々な学会発表が行われました。

学会は見聞を広げると同時に社交の場としても機能しており、ここから共同研究が始まったりリクルーティングの場になったりと、学問的な理由以外で発表者を成長させる場でもあります。

9月9日 救急医療関係功労者等知事感謝状贈呈式

東京都庁にて救急医療関係功労者等知事感謝状贈呈式にて、当法人の南多摩病院が表彰され授賞式に益子院長が参加しました。救急医療に協力し、顕著な功績のあった個人や救急医療機関へ感謝状が贈呈されます。益子院長のリーダーシップのもと、地域に根ざした救急病院として、また災害時の医療派遣協力機関として南多摩病院の日頃の活動が認められたことは大変喜ばしいニュースです。



お知らせ

9月28日 みなみ野病院の地鎮祭が行われました。

八王子市みなみ野地区に「みなみ野病院」を新設するにあたり、地鎮祭が行われました。現段階では平成29年の12月末の竣工を予定しております。経過や進捗情報はホームページや広報誌等でお知らせしてまいります。



永生会の栄養科をご紹介します。

ここ八王子も気温が下がり、秋へと季節が移りつつあります。紅葉、スポーツ、読書、など様々な秋らしさの中で今回の特集は食欲に注目。いつの時代も食べることは楽しみの主役。そんな患者様の“食”へのサポートを“職”にしている永生会の栄養科をご紹介します。

永生会の管理栄養士について

永生会の2つの病院（南多摩病院・永生病院）、3つの介護老人保健施設（イマジン・マイウェイ四谷・オネスティ南町田）にはそれぞれに栄養科があり、管理栄養士が勤務しています。お食事の献立作成や調理等の給食業務は給食会社に委託しており、管理栄養士は患者様、利用者様個々の栄養サポートを行っています。

毎日、患者様の体調やお食事の摂取量をこまかくチェックし、どうしたら栄養状態が良くなるかを考え、治療の支えになれるような栄養管理を目指しています。

栄養とひとことに言っても食事の仕方や運動量の確保など、生活する上でとても大切です。適切な栄養摂取を怠ると筋肉や脂肪組織を減少させるので長期間の入院患者様は褥瘡（床ずれ）の原因にもなり得ます。また、適切な栄養摂取は排便にも影響がありますので、結果的に介護職の方々の負担も減らせます。

急性期の機能を持つ南多摩病院では患者様の入院日数が短いため、手術後の回復を少しでも早めるために手術前の栄養摂取を積極的に行うことに加え、小児科や病児保育室への食事提供も行っており、高齢者から小児まで幅広い年齢層へのサポートが行われます。



多職種での治療への参加



■ 栄養サポートチーム：NST (Nutrition Support Team)

医師、看護師、薬剤師、言語聴覚士、臨床検査技師、管理栄養士で構成された栄養管理の専門チームです。患者様の中には、「飲み込みが難しくなり、十分に食べられない」「生活習慣病の改善が難しい」などさまざまな問題を持たれた方がいらっしゃいます。そのような特別な栄養サポートが必要な患者様のもとへ回診にうかがいます。異なる職種が、それぞれの立場から力を発揮し、チーム一丸となって活動しています。

※その他、褥瘡回診にも参加しています。



病院で提供する食事は治療とリハビリ、さらには予防の機能を兼ね備えます。委員会や病棟でのこまめなミーティングを通じて、一人ひとりに合った栄養療法を提言・選択・実施し、栄養状態の改善・治療効果の向上・合併症の予防・QOL（生活の質）の向上などを活動目的としています。



■ 介護老人保健施設での取り組み

患者様とのコミュニケーションを通じて好みや要望を把握するのも管理栄養士の重要な仕事。可能な限り家庭と同じものを食していただき、安心して自宅に帰れるようサポートしています。



介護老人保健施設では、病院とは違ったイベントが行われています。「まぐろの解体ショー」や寿司職人さんによる「出張にぎり寿司」もその一つ。ご利用者様に喜んでいただいております。日本人ならではの食文化や伝統を感じていただける催しをこれからも大切にしたいと考えています。

■ 食事への工夫

給食を担当する給食会社の調理師と栄養士は、安全でおいしい食事の提供を目指して日々取り組んでいます。患者様、ご利用者様のご要望に応えられるよう研鑽しています。



敬老に日に提供された食事。見た目には通常の食事と変わりませんが、飲み込みに障害がある方にも食べやすく加工されています。

小児用の食事。満足いただけるようニーズに合わせた食事内容を提供しています。

■ 栄養指導

南多摩病院の外来、永生病院に併設している永生クリニックでは栄養指導を行っています。糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病や、思うように食事が食べられず体重が減少し低栄養状態と医師が診断、栄養指導の必要があったとした場合、栄養指導をさせていただきます。食事や栄養に関することで心配事がありましたら、まずは医師にご相談ください。



永生クリニック TEL.042-661-7780 (代表)

- お問い合わせ時間/平日9:00~16:30
- 休診日/日曜日・祝日・年末年始(12月30日~1月3日)

南多摩病院 TEL.042-663-0111 (代表)

- お問い合わせ時間/平日8:30~17:00
- 休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月30日~1月3日)

油断禁物！インフルエンザにご用心！

2016年のインフルエンザ流行は、いつになく早く始まっているようです。2015年は年明けからの流行が本格的でありましたが、今年は既に各地でインフルエンザの感染者が出ています。特に沖縄県那覇市では、第40週(10月3日～9日)の時点で定点あたり11.17人という患者数の報告がありました(沖縄県調査より)。定点あたりの感染者数が10人を超えるとインフルエンザ注意報が発令されるため、沖縄県では一足早く流行が始まったといえるでしょう。

昨年の記事(通信eisei 67号)にも書かせていただきましたが、インフルエンザワクチンにはA型2種類・B型2種類の4種類のワクチンが入っています。B型については、日本では2014年まで毎年この2系統のうちからどちらか片方が流行すると予測し、一方のみ選定してワクチンを作成していました。しかし、近年の流行傾向から2015年からは「4価ワクチン」が使われるようになりました。

一方で、ワクチンに耐性を持つウイルスが出てきているのも注目すべき点です。インフルエンザ薬を服用してもなかなか効果が出ないようであれば、耐性を持ったウイルスではないかと疑う必要があります。お近くの病院や診療所に相談しましょう。

毎年たくさんの人を悩ませるインフルエンザ。例年、流行が収束するのは春になってからですので、それまではマスクの着用、手洗い、うがいなどでしっかり予防を行ってください。また、予防接種に対して市町村によっては65歳以上の方や子どもを対象とした助成制度がありますので、ご自身の市町村の情報もお確かめください。

永生会の各外来においても予防接種を行っております。お申し込みは下記連絡先までお願いいたします。

南多摩病院
東京都八王子市散田町3-10-1
TEL.042-663-0527

永生クリニック
東京都八王子市栢田町588-17
TEL.042-661-7780

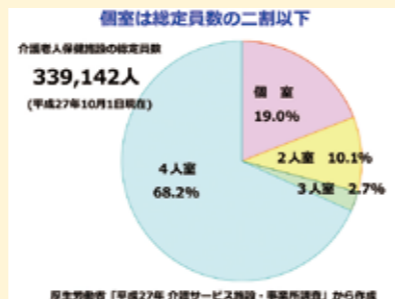
クリニック0 (ゼロ)
東京都八王子市寺田町490
TEL.042-666-1556

中学校跡地を用いた全室個室の介護老人保健施設(マイウェイ四谷)

かつて、特別養護老人ホームなどの老人福祉施設は、「措置施設」と言って、福祉行政の一環として運営されてきましたが、平成12年度の介護保険導入により、入所手続きも施設と利用者の契約によって決まるようになりました。つまり利用者が施設を選べる時代になったのです。老人保健施設はそれ以前から利用者に選択権がありましたが、この時点から介護保険を財源とする入所施設として老人保健施設は介護老人保健施設と名称が変わり、介護療養型医療施設と合わせて「介護保険3施設」と整理されるようになりました。

「措置から契約へ」大転換するためには居住・療養環境も改善させることが必要であるとの方針の下、厚生労働省は、平成26年度までに特別養護老人ホームを70%以上個室ユニット化、介護保険3施設で50%以上とする目標を立てました。そんな機運が高まっていた平成17年10月、マイウェイ四谷は永生会2つ目の介護老人保健施設として、東京都新宿区の旧四谷第二中学校の跡地に開設されました。

目標年度を経過した現在も当時の厚生労働省の目標は達成しているとはいえない状況ですが、マイウェイ四谷は、都心の住宅街の一角にたたずむ全室個室タイプのサービスを提供する介護老人保健施設として、新宿区民をはじめ広い地域の在宅・病院等で療養を続ける要介護の方々にかきめ細かなサービスを提供しております。



10月11日 香港社会福祉協会 使節団来訪

香港非政府の社会福祉事業機関連盟の19名の使節団が、永生病院、永生クリニック、老人保健施設イマジンの施設見学に来訪されました。

スタッフの体制やリハビリテーション、各施設における工夫に加え、使用している機器にも興味を持たれた様子で熱心に質問いただきました。説明する側も熱意や想いが伝わったよう有意義な交流となりました。



あのかた このかた

気になる職員にスポットを当ててご紹介するこのコーナー。今号では、医療の質を向上させる活動に積極的なリハビリテーション科の医師、野本医師をご紹介します。



永生病院 リハビリテーション科 医師 野本 達哉

基本姿勢は自然体。楽しく働ける環境づくりを目指して

●フットワーク軽やかに、様々な分野で活動されていますね。何か昔から想いがあったのですか？

医師になって脳外科を専門に大学病院で勤務している中で、チーム医療の大切さを理解しました。医療スタッフと関わっていくうちに、いろいろな分野で医療の質をよくしたいと思うようになりました。

●栄養サポートチーム(NST)の立ち上げにも貢献されていますね。

もともと手術後の患者様の容体が安定するまでを管理するうえで、栄養の大切さに気づき臨床栄養の勉強をはじめました。栄養って入院中も退院後も生活する上でとても大事なんですよ。体調に限らず心も豊かにしますよね。永生病院のスタッフは職種を問わず患者様の栄養状態を気にする人たちが多かったのですが、何をしていたのか分からずモヤモヤしていました。そこでNSTを立ち上げることにしました。現在では管理栄養士をはじめ病棟スタッフの知識、スキルも上がり、質の良いサポートを行なえていると思います。



●スタッフとのコミュニケーション通じて感じることは？

純粋に患者様やスタッフと関わるのは好きですね。やっぱりスタッフが楽しくないと患者様も楽しくないですよ。永生病院にはリハビリマインドを主とした立派な理念があります。自分には何ができるか、それを実践するためにはどうしたらよいかをみんなで考えたり共有したりして、仕事がしやすい環境を増やしたいと考えています。

Profile

- 出身大学：帝京大学 ●役職：永生病院 医療技術部長、TQMセンター長、NSTチェアマン
- 得意分野：脳血管障害、リハビリテーション一般、摂食嚥下リハビリテーション、臨床栄養
- 経歴：平成15年 順天堂大学 脳神経外科、平成17年 順天堂大学浦安病院 脳神経外科 助手
平成18年 順天堂大学静岡病院 脳神経外科 助手、平成19年 順天堂大学 脳神経外科 助手
- 趣味：サーフィン